

第45期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

食にこだわり美味しさを追求する
松屋フーズの取り組みを
株主の皆様へお届けします。



**お客様の笑顔のために、
さらなる美味しさと安全・安心を
追求し続けます。**



価値ある商品を継続して

日本経済は、個人消費に陰りが見られ、貿易摩擦懸念や原油高等の国際経済の不確実性により、景気の先行きに不透明感が強まっております。外食産業におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

そのような状況の中、当社の強み・特徴である商品開発力や店舗オペレーション力を活かし、様々な新商品、販売促進を展開してまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「ごろごろ煮込みチキンカレー」「和風タルタルチキン定食」「うまトマハンバーグシリーズ」「鶏のバター醬

当中間期の業績はいかがでしたか

油炒め定食」の期間限定メニューの復刻販売、新商品として「トマトフォンデュソースのビーフハンバーグステーキ定食」「創業ビーフカレー」「うな丼」「味玉オリジナルカレー」「牛肉と筍のオイスター炒め定食」「ごろごろチキンのバターチキンカレー」「お肉どっさりグルメセット」「牛と味玉の豚角煮丼」「豚焼肉と豚角煮のあいもり定食」を販売いたしました。また、創業祭として『カルビ增量キャンペーン』、2018年6月に開催いたしました。松屋復刻メニュー総選挙2018のスピノフ企画である『Twitter松屋ボツメニュー裏総選挙』において1位となりました「焼き牛めし」の販売、「平成のロングセラー 豚ビビン丼」と「新作 牛ビビン丼」を『松屋ビビン丼対決』として



代表取締役会長
瓦 葺 利夫

代表取締役社長
瓦 葺 一利

「第45期中間報告書」送付及び「第45期中間配当金のお支払い」について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第45期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況を、ここに「第45期中間報告書」としてお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

また、「第45期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきました。下記のとおりお受け取りくださいますようお願い申し上げます。 敬具

「第45期中間配当金のお支払い」について

第45期中間配当金（1株につき12円）は、同封の「第45期中間配当金領収証」により、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受け取りください。

また、口座振込みをご指定の方は、「第45期中間配当金計算書」及び「配当金のお振込先について」を同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます（株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問い合わせください）。

TOPICS

11.13

松そば 清瀬店 オープン

2019年11月13日に松そば 清瀬店がオープンいたしました。

こちらの店舗は、松屋フーズ初の複合店舗で、打ちたて十割そば・揚げたて天麩羅を提供するそば業態「松そば」の商品ととんかつ業態「松のや」の商品を同時にお楽しみいただける店舗です。

お近くに行かれた際は、ぜひご利用ください。



お届けすることが私たちの使命です。

価値観の高いメニューをお客様に提供するために、原点に戻り、QSCの維持・向上に努めます。



販売し、対決期間中販売数の多かった「豚ビビン」の復刻販売を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比105.6%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比9.4%増の520億90百万円となりました。

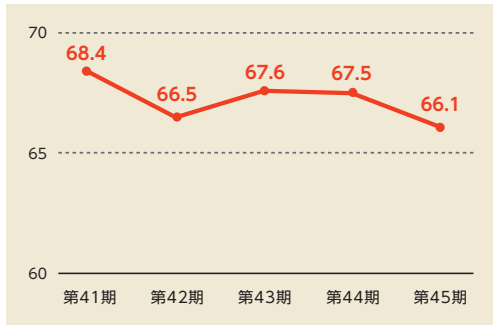
売上原価につきましては、売上高の上昇により、工場等の固定費の割合が低下し、前年同期の32.8%から32.6%へと改善いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.0%から61.3%へと改善いたしました。この要因は、売上高の上昇により、固定費の割合が低下したことによるものです。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費

FLコストの推移

(第2四半期/連結ベース)

(単位:%)



の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の67.5%から66.1%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比110.1%増の31億61百万円、経常利益は前年同期比105.5%増の32億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比93.2%増の18億93百万円となりました。

下期の展望について教えてください

今後の日本経済の見通しにつきましては、依然として景気は持ち直し基調を維持しておりますが、世界景気後退を背景に、見通しには不透明感が出てきております。

一方で、外食産業におきましては、競争の激化に加え、雇用環境の変化による雇用コストの上昇等、当社グループを取り巻く環境はより厳しさを増すものと考えられます。

そのような中で当社グループは、牛めし業態・とんかつ業態の新規出店と既存店における店舗改装に加え、鮎・中華・カレー・ステーキ等の新業態の新規出店等を推進し、売上高の増加を図ってまいります。また、業務改善による効率化を推進し、販売費及び一般管理費の改善に努めてまいります。さらに、一層の販売促進・売上対策を推進するとともに、付加価値の高いメニューをお客様に提供してまいります。そのためにも原点に戻り、店舗の運営力向上に努め、従業員一人一人のスキルアップを行い、価値ある商品を継続してお届けすることが私たちの使命であると考えております。

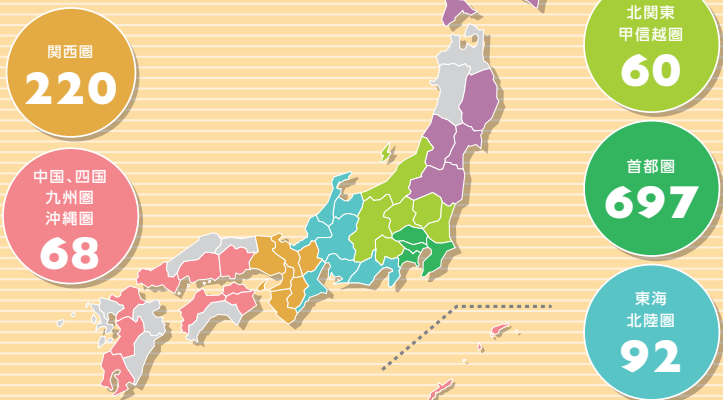
株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

1,000店舗のその先へ一店舗戦略

1,176

店舗 (2019年9月30日現在)

※海外14店舗除く



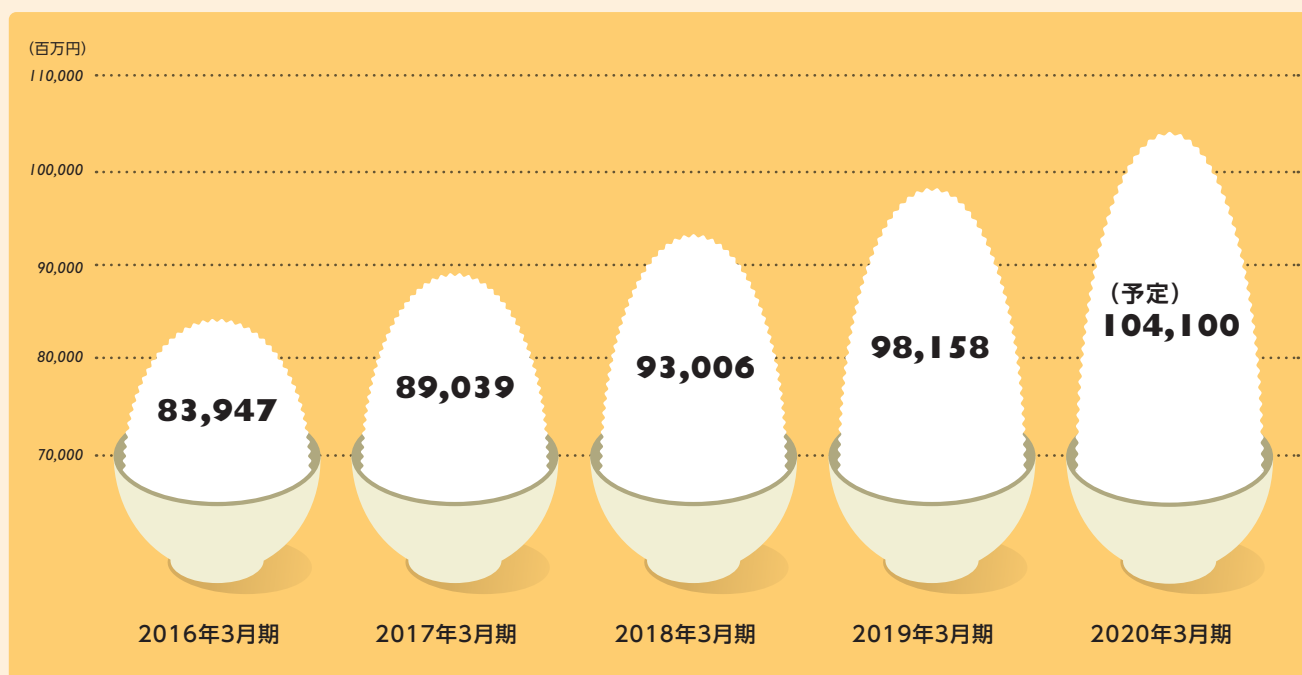
新業態店舗数 (2019年9月30日現在)

とんかつ業態 193店舗			
鮎業態 10店舗	すし松 福松		
ラーメン業態、その他 13店舗 (海外含まず)			

売上高1,000億円達成予定

おかげさまで当社は2020年3月期に売上高1,000億円を達成する見込みとなりました。食にこだわり美味しさを追求する松屋フーズの取り組みをより一層強め、これからも「安心・安全・健康」の新業態店舗を展開してまいります。

売上高の推移



これまでの歩み

松屋フーズは1966年、東京都練馬区羽沢に中華飯店「松屋」を開店(創業)してからの53年間、いつの時代も訪れるたびに心が弾む“みんなの食卓”をコンセプトに、「美味しさと安全を追求した価値ある商品」「高い付加価値を約束するサービス」を提供してまいりました。

2012年8月31日には「松屋西日暮里店」のオープンにより松屋フーズグループ国内総店舗数1,000店舗を達成いたしました。

2013年10月には、とんかつ店「松乃家」が関西初進出(なんさん通り店)を果たし、同年12月にはとんかつ店「松乃家」がローサイド初出店(下永谷店)に至りました。

2014年7月には《これまでの旨さから、別次元の旨さ》を追求し、開発を重ねて誕生した「プレミアム牛めし」を導入。本当に美味しいものを提供しようと考え抜いて生まれた「プレミアム牛めし」は“お客様にご満足いただける松屋”のさらなる確立の礎となりました。

2016年6月16日に創業50周年を迎えた松屋フーズは「売上高1,000億円達成」という目標を達成間近ですが、この目標に満足せず、これからも「安心・安全・健康」というスローガンを軸として付加価値の高いメニューをお客様に提供してまいります。





お肉たっぷり
新作 焼き牛めし



ごろごろ煮込み
チキンカレー



トマトフォンデュ
ソースの
ビーフハンバーグ
ステーキ定食



お客様が選ぶ!
松屋「ビビン丼」
対決開催!



豚ビビン丼



和風
タルタルチキン
定食



創業ビーフカレー



創業記念第2弾
カルビ増量
キャンペーン開催!



回鍋肉定食



玉子で食べる
四川風麻婆豆腐
定食



うな丼



味玉
オリジナルカレー



牛肉と筍の
オイスター炒め
定食



ごろごろチキンの
バターチキンカレー



うまトマ
ハンバーグシリーズ



お肉どっさり
グルメセット

季節定番や 新メニューも 松屋の美味しさと 安全をご提供

2019年度
上半期

10.1



ステーキ屋松 下北沢店 10月1日11時 オープン

2019年上半期は、商品開発力と店舗のオペレーションを活かして、定番の限定メニューとボリューム満点の新メニューを投入しました。今後もお客様を第一に考え、身体に優しい自然の味をお楽しみいただけるメニューを販売してまいります。

2019年3月12日に三鷹に1号店をオープンした新業態店「ステーキ屋松」は多くのお客様にご利用いただき大好評をいただいております。このたび、おかげさまで10月1日に下北沢に2号店をオープンいたしました。

CSR
活動の
ご報告

環境に配慮したバイオマスレジ袋を導入

牛めし業態 松屋960店舗では環境に配慮したバイオマスレジ袋を導入しております。

このレジ袋は植物原料を由来に、サトウキビから砂糖生産時にでる副生成物「廃糖蜜」を主な原料としており配合比は最高純度96%を採用しております。

この植物を原料とした製品を焼却処分する際に排出されるCO₂は、原料とした植物が吸収した量と同じになり、結果的に大気中のCO₂の増減に影響を与えないこととなります。このような性質は「カーボンニュートラル」と呼ばれ、従来の石油由来のプラスチックのようにCO₂を一方向に排出せず循環させるため、CO₂排出量削減に大きく役立ちます。

今後、各業態もバイオマスレジ袋を順次導入していく予定です。

会社概要 (2019年9月30日現在)

設立	1980年1月16日
資本金	66億5,593万2,100円
従業員数	1,536名
売上高	981億円 (第44期実績)
本社	東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
店舗	1,176店舗 ※海外店舗を除く
事業内容	・牛めし定食事業 ・とんかつ事業、鮨事業 ほか ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び経営指導

グループ会社紹介 (2019年9月30日現在)

(株)松屋フーズ	青島松屋商貿有限公司
(株)エム・テイ・テイ	台湾松屋餐飲股份有限公司
(株)エム・エル・エス	上海松屋餐飲管理有限公司
(株)松屋ファーム	Matsuya Foods USA, Inc.
(株)トレンジエクスプレス	Matsuya International, Inc. Matsuya New York, Inc.

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	35,537名

大株主 (上位10名) (2019年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
瓦葺 利夫	3,847,000	20.18
有限会社ティケイケイ	2,979,441	15.63
有限会社トゥイール	1,830,000	9.60
瓦葺 一利	936,500	4.91
瓦葺 香	744,372	3.90
株式会社商工組合中央金庫	518,400	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	425,600	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	358,500	1.88
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
GOVERNMENT OF NORWAY	202,000	1.06

役員一覧 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	かわら ぶき とし お 瓦 葺 利 夫
代表取締役社長	かわら ぶき かず とし 瓦 葺 一 利
専務取締役	たん ざわ き いちろう 丹 沢 紀 一 郎
取締役	うず い よし と 薄 井 芳 人
取締役	おお くら たつ や 大 蔵 達 也
取締役	ふじ わら え り 藤 原 英 理 ※
監査役	すず き はる お 鈴 木 治 夫
監査役	たか なし ひろ 宏 樹 ※
監査役	いま むら ゆき お 今 村 幸 雄 ※

※は社外取締役、社外監査役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当： 毎年3月31日 中間配当： 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	当社の公告は電子公告により行います。 ホームページアドレス https://www.matsuyafoods.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株

株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9887

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 e-株主リサーチ(オンライン)でご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

アンケートのお問い合わせ TEL: 03-6779-9487(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

弁当予約サイト「松弁ネット®」

2016年4月に開設しました「松弁ネット®」がおかげさまで大好評です！ お弁当1個からご注文を受け付けており、WEB・スマホで事前にご注文いただくことで最短30分後から、ご希望の店舗でお受け取りいただけます。WEB・スマホで簡単、会員登録で便利に松屋の味をご家庭でお召し上がりいただけます。是非「松弁ネット®」をご活用ください。

注文受付時間	24時間
受取可能時間	24時間 ※一部店舗では異なる場合がございます。
対象店舗	全国の松屋・松のや・松乃家 ※競馬場内やパーキングエリア内の店舗など一部店舗を除きます。
ご利用方法	会員登録 → 受取希望店舗・時間を選択 → メニューを選択 → 店舗でお受け取り・会計
会計	※お会計は、店舗で現金にて承ります。 ※食券は購入せず、直接従業員にお支払いください。 ※交通系電子マネーでのお支払いはできません。

